

第5学年 道徳科学習プログラム  
 高学年として役割を果たし、より良い学校生活をつくろう

指導者 小島 健次  
 保田 典子

ねらい 高学年として、学校や学級、身近な集団の中で、積極的にリーダーシップをとることを通して、集団を支えているのは、自分たち自身であることに気付くようにすると同時に、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする態度を養う。

学習過程

児童の意識の流れ	教科・領域等	道徳科	体験活動、家庭・地域との連携	時期
<p>委員会や当番活動等責任をもってやりたいけど、できるかな。</p> <p>高学年として、あいさつもお手本になるようにしたいな。</p> <p>学級の一員として、当番の仕事をがんばろう。</p> <p>集団の中での役割は自分しかできないことだから、責任をもってやりきろう。</p> <p>社会の中でもその一員として役割を果たしたり、決まりを守って行動したりしていかなくてはいけない。</p> <p>6年生の代わりに次は自分たちが学校のリーダーとして、より良い学校を目指していこう。</p>	<p><b>当番活動</b>                      【当番活動における道徳教育の視点】                      クラスの中で必要な役割を担うことで、集団の一員としてクラスを支えているという自覚をもつとともに、当番の仕事を責任をもって果たそうとする心情を育てる。</p> <p><b>委員会活動</b>                      【委員会活動における道徳教育の視点】                      高学年として、学校を支えているのは自分たちであるということに気付くとともに、委員会の仕事を責任をもって実践しようとする心情を育てる。</p>	<p><b>道徳科「かれてしまったひまわり」</b>                      C (16) より良い学校生活、集団生活の充実                      集団の中で自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を養う。【本時】</p> <p><b>道徳科「駅前広場はだれのもの」</b>                      C (12) 規則の尊重                      社会の一員として自覚を持って、進んで決まりや約束を守って行動しようとする態度を養う。</p>	<p><b>あいさつ運動</b>                      【体験活動における道徳教育の視点】                      校門でのあいさつ運動を通して、高学年として下級生のお手本となるような挨拶をしようとする心情を育てる。</p> <p><b>集団登校班の活動</b>                      【体験活動における道徳教育の視点】                      集団登校班での班長や副班長の役割を通して、下級生の事を考えた行動や約束を守って安全に登校しようとする意欲と態度を養う。</p>	<p>6月中旬</p> <p>7月中旬</p>

自分の役割に責任をもち、高学年として、学校や学級の一員としてよりよい学校生活をつくっていこう。